

東海地方の天候（令和5年11月）

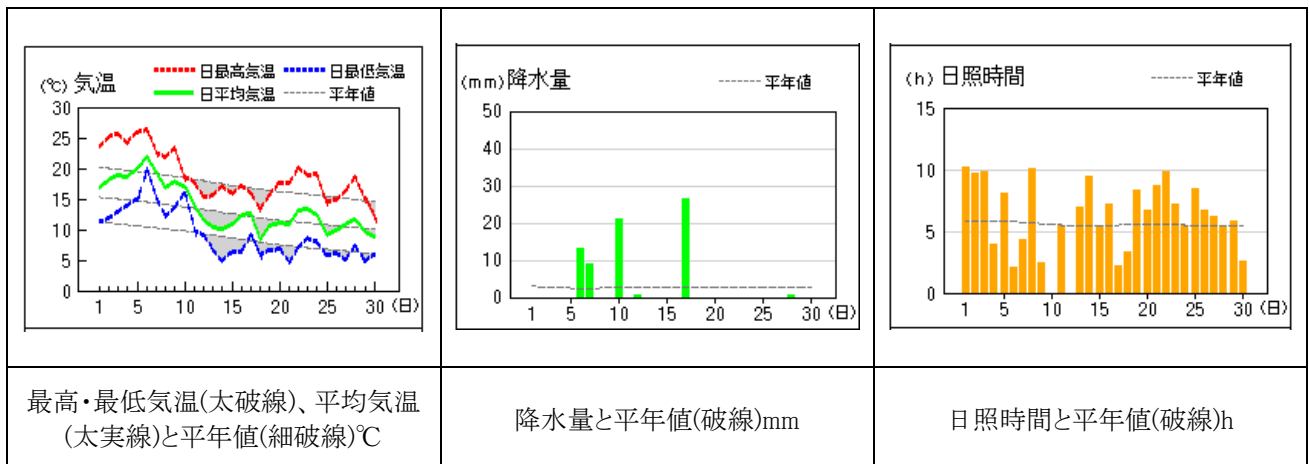
1 概況

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、月間日照時間は多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は高くなりましたが、上旬は記録的な高温となった一方、中旬は寒気の影響で気温がかなり低くなった日があり、寒暖の変動が大きくなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「多い」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	<p>旬の前半を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、旬間日照時間は多くなりました。後半には低気圧や前線の影響でまとまった雨となった日があったため、旬降水量は多くなりました。また、暖かい空気に覆われた日が多かったため、旬平均気温はかなり高くなり、平年差+3.4℃と1946年の統計開始以降、上旬として第1位の記録的な高温となりました。</p> <p>旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「多い」、日照時間は「多い」となりました。</p>
中旬	<p>天気は数日の周期で変わりました。旬の後半は、低気圧や前線の影響によりまとまった雨が降った日もありました。寒気の影響を受けた時期もあったため旬平均気温は低くなり、岐阜県山間部を中心に曇りや雨となった日もありました。</p> <p>旬の平均気温は「低い」、降水量は「平年並」、日照時間は「平年並」となりました。</p>
下旬	<p>冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、旬降水量は少なく旬間日照時間は多くなりました。また、寒気の影響を受けにくかったため、旬平均気温は高くなりました。なお、岐阜県山間部では曇りや雨または雪の日が多くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「高い」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。</p>

参考 時系列図（名古屋地方気象台）



4 令和5年(2023年)11月の順位更新表

東海地方の気象台・特別地域気象観測所における11月の月平均気温・月降水量・月間日照時間の3位以内の順位更新はありませんでした。

参考資料 平年並の範囲(東海地方)

11月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.4 ~ +0.6℃	56 ~ 135%	83 ~ 110%
中旬	-1.1 ~ +0.8℃	27 ~ 127%	94 ~ 109%
下旬	-0.6 ~ +0.4℃	30 ~ 98%	86 ~ 112%
月	-0.5 ~ +0.5℃	67 ~ 114%	95 ~ 107%

資料の解説

- ・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めています。また、値が1991~2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現します。
- ・岐阜県の「山地」と「岐阜県山間部」について
岐阜県の天気予報では、標高500mより高い地域を「山地」、低い地域を「平地」として大雪警報や注意報、また降雪量の予想などを発表しています。一方、季節予報や週間天気予報では、冬季に東海地方の他の地域と比べて気候的に曇りや雪の日が多い、岐阜県飛騨地方の全域と美濃地方の山地を合わせた地域を「岐阜県山間部」と呼んでいます。